

# はじめに

私はこれまで30年以上、留学生やビジネスパーソンなどに日本語を教え、学習者のさまざまな誤用を見てきました。その中で特に気になったのが、中上級に進んだ人たちに求められる基礎的な文法の間違いでした。例えば複雑な文型や難しい語彙を使えていても、文の構造に関わる基本的な文法を間違ってしまうと伝えたいことは伝わりません。また助詞などの小さな間違いを繰り返している、自分の実力より低く評価されてしまうこともあります。実際に私は、外国人を雇っている企業の方から「OOさんは、N1に合格しているからもっと日本語が上手だと思っていましたが、そうでもないですね」というショッキングな言葉を聞いたこともありました。さらに上級の学生から「文法に自信がなくて、うまく話したり書いたりできません。どうやって勉強したらいいでしょうか」という相談を受けたこともありました。

この本は、どうしたらそのような人たちが正確な文法を身につけて、自信を持って日本語のアウトプットができるようになるだろうかと考え、試行錯誤しながらまとめていったポイントが形になったものです。ですから、この本は日本語の文法テキストですが、日本語能力試験に合格するための教材ではありません。文法の仕組みを知って、自分が使いこなせるようになることを目的としています。

この本には、特に誤用が多い「は」と「が」、受身、使役、自動詞・他動詞などを取り上げてあります。これらを間違えるとどんな意味にとられてしまうのかを知り、正しい表現を覚えて、どんどん使ってみましょう。文法に自信を持つことは、実は文法から自由になることなんです。

文法の間違いをなくして、自由に日本語を使いこなせるようになりましょう。

この本の素材は日本語教師養成講座や専門学校での総合日本語授業で使用した自作教材でしたが、日本語教師の勉強会コミュニティ「サタラボ」で教材を紹介し、多くの日本語教師の方から意見をいただいたことも大きなプラスとなりました。また、アルク編集部の方からは、栗山さんには企画段階から本当にお世話になりました。また、栗山さんなくしてこの本の完成はあり得ませんでした。そして何より一番感謝したいのは、私と関わってくれた学習者の皆さんです。皆さんのおかげでこの本を作ることができました。

この本を使って、自信を持って日本語をアウトプットできる人が増えることを願っています。

# 本書の使い方と構成

本書は日本語学習者の文法の間違いをなくし、正しくアウトプットできるようにするためのトレーニングブックです。教室で使う場合、「直してみよう」から「自分のことばで…！」までで1レッスン、45分程度を想定しています。(発表をする場合はもう少し時間がかかると思います。)

「自分のことばで…！」はクラスで発表したり、文集を作ったり、SNSに投稿したりしてみてください。「自分のことばで…！」を宿題にすることもできます。

## どこがダメ？

### 直してみよう



### ポイントチェック

### やってみよう

学習者の実際の間違いです。例文のどこが間違っているのか、考えてみましょう。

まずは自分で直して、正しい日本語で書いてみましょう。「直してみよう」の答えは、各レッスンの最後のページの下部にあります。

例文がどうしてダメなのか、理由を確認しましょう。文法の間違いだけでなく、それを間違えると起こる問題などがある場合は、それについても紹介しています。①、②などの番号は、例文の番号です。番号がない場合は、例文全体について述べています。

間違いの原因は何か、同じように間違えないようにするにはどうしたらいいのか確認しましょう。イラストや図を使って分かりやすく解説しています。このポイントをしっかり押さえておけば、正しい文が作れるはずですよ。

正しい文を作るためのポイントがちゃんと理解できたか、例文と同じような形の文章を使ってチェックしましょう。



## 文法 プレイバック

そのレッスンでポイントになった文法をもう一度確認したり、一緒に確認した方がいい文法の使い方を整理したりしましょう。どの文法も、自分で文を作るときに重要なものばかりです。例文は自然な日本語であることを優先するため、提示されている文型と完全に一致しない場合があります。

## 練習しよう①②

レッスンで勉強したポイントを理解して使うことができるかどうかを試すための問題です。問題は、いろいろな形で出されます。何も見ないで、まずは自分の力でやってみましょう。

## 自分のことばで...!

レッスンで確認した文法を使って、自分の言葉で意見や経験など、日本語でアウトプットしてみます。見本はありません。あなたの言葉で自由に書いてみましょう。内容にまとまりがあるように、200字程度で書いてみてください。

特に気を付けてほしいことや、  
他にも知っておいてほしいことがあるときは、  
私が説明するよ!



文を書いて、以下のページに投稿してみませんか。  
他の人の文も読んで、感想をコメントしましょう。

※注意 著者の個人ページであり、(株)アルクは関係していません(質問、問い合わせなどは受け付けていません)。また、添削などはしていません。

URL : <https://www.facebook.com/groups/536618301121886>



# 目次

はじめに …… 3

本書の使い方と構成 …… 4

レッスン 01 …… 7

レッスン 02 …… 11

レッスン 03 …… 15

レッスン 04 …… 19

レッスン 05 …… 23

レッスン 06 …… 27

レッスン 07 …… 31

レッスン 08 …… 35

レッスン 09 …… 39

レッスン 10 …… 43

レッスン 11 …… 47

レッスン 12 …… 51

レッスン 13 …… 55

レッスン 14 …… 59

レッスン 15 …… 63

レッスン 16 …… 67

レッスン 17 …… 71

レッスン 18 …… 75

レッスン 19 …… 79

レッスン 20 …… 83

レッスン 21 …… 87

レッスン 22 …… 91

レッスン 23 …… 95

レッスン 24 …… 99

レッスン 25 …… 103

レッスン 26 …… 107

レッスン 27 …… 111

レッスン 28 …… 115

レッスン 29 …… 119

レッスン 30 …… 123

レッスン 31 …… 127

レッスン 32 …… 131

レッスン 33 …… 135

レッスン 34 …… 139

レッスン 35 …… 143

レッスン 36 …… 147

レッスン 37 …… 151

レッスン 38 …… 155

レッスン 39 …… 159

解答 …… 163

対応文法一覧 …… 170

奥付 …… 172



レッスン

01

どこがダメ？

- ① 昨日、中国友達来ました。
- ② 山田さんお土産もらいました。



 直してみよう

①

②





- ①「中国」なのか「から」なのか「に」なのか、言いたいことが分からない。
- ②お土産をもらったのが誰なのか分からない。



### 👉 ポイントチェック

太郎	が	_____	(動作の主体)	_____	見る
花子	と	_____	(動作の相手)	_____	
7時	に	_____	(動作の時間)	_____	
新宿	で	_____	(動作の場所)	_____	
映画	を	_____	(動作の対象)	_____	

「が」「を」「に」「で」「と」「へ」「から」「まで」「より」は、直前の名詞と後ろに来る動詞・形容詞がどのような関係なのかを表します（「格助詞」と呼ばれます）。助詞がないと意味が伝わらないことがあるので気を付けましょう。

名詞と助詞のセットは順番を入れ替えることができる。つまりどの助詞を使うかは名詞と後ろに来る動詞の関係で決まり、語順で決まっているわけではないよ。

5時に駅前と友達と会う。 = 友達と駅前で5時に会う。



### ☹️ やってみよう

正しい方を選びなさい。

1. 友達 (に・が) 誘われて、脱出ゲームをやってみた。
2. 京都 (に・から) 来てもう5年なので、京都の言葉にもすっかり慣れた。